



174年続いた三日月藩の歴史を今に伝える史跡で現存する物見櫓としては、全国でも貴重な建築遺構 — 安全で美しく生まれ変わった御門橋で、江戸時代の城下町の風情を体感できる観光スポットへ —

三日月藩乃井野陣屋館御門橋改築工事竣工式 を5月23日に開催

令和8年5月7日

佐用町教育委員会教育課

担当：中村

0790-82-2424

Kyo-i-somu@town.sayo.lg.jp

三日月藩乃井野陣屋とは

— 元禄10年から174年続いた1万5千石の藩 —

元禄10年（西暦1697年）、津山藩森家の改易に伴い、その分家である森長俊が三日月の地を所領、佐用郡だけでなく宍粟・揖保郡の一部を含む1万5千石の藩主となりました。以後明治までの174年間、乃井野は城下町として政治・文化の中心地として栄えました。三日月藩乃井野陣屋で唯一現存する物見櫓は、江戸時代の建築遺構であり現存するものとしては全国的にも極めて希少で、大変貴重な建築遺構として高く評価されています。

御門橋改築事業の概要

平成12年度に復元整備された中御門橋・通用門橋は、25年以上が経過し、橋や床板の腐食が進行していました。このため、

令和7年度：橋の掛替工事（桁の部分を木製から金属製に変更）

令和8年度：外壁及び周辺整備工事

を実施し、観光施設としての良好な外観を保つとともに観光客の安全確保を図り、観光客の増加につなげたいと考えています。

令和7年度事業費

改築工事費 50,028,000円（消費税込み）

堀の浚渫工事費 3,817,000円（消費税込み）

合計 53,845,000円（消費税込み）



竣工式の概要

項目	内容
式典名	三日月藩乃井野陣屋館 御門橋改築工事竣工式
日時	令和8年5月23日（土）午前10時から午前11時（予定）
会場	三日月藩乃井野陣屋館（佐用町）
主催	佐用町教育委員会
内容	開式、式辞、工事経過報告、表彰、テープカット、渡り初め 獅子舞披露、閉式 ※ 閉式後橋に関する現地説明会を開催